

2 近年の教育改革の動向

*近年エジプトでは、大きな教育改革が続いています。ここでは、エジプトの現在の教科書のあり方に特に関係が深いと思われる2つの教育改革について紹介したいと思います。

* (1) Education 2.0 (Edu 2.0): 2016 年以降、「エジプト・ビジョン 2030(以下、ビジョン 2030)」が打ち出され、暮らしの質向上や平等、持続可能な環境などを目指したさまざまな取り組みがなされてきました。このビジョン 2030 の下、ターレク・シャウキー元教育・教育技術省大臣(2017-2022)のリーダーシップで実施されることになった一連の教育改革のスローガンが Edu 2.0 です。

もとより、エジプトでは、暗記中心の教育や激しい受験競争が社会問題となってきました。Edu 2.0 では、丸暗記や表面的な理解にとどまっていたエジプトの教育を批判的思考や知識基盤型の探求、生涯学習を促す教育制度へと転換することが目的とされ、多岐にわたる取り組みが始まりました。国内の機関だけでなく、多くの国際機関もエジプトの教育改革に参加しました。ユニセフやユネスコは教育・教育技術省と連携して、単純な記憶力だけでなく子どもたちの資質・能力を伸ばすことができるような新しいカリキュラムの開発に挑戦しました。また、国際的に有名な出版社であるナショナルジオグラフィックなどが参加して、web サイト上で子どもたちの学習を支援する教材の開発が行われ公開されました (Moustafa et al, 2022)。

* (2) エジプト版「バカロレア」: 2025 年秋(エジプトの学校は秋が新学年の始まり)から導入が開始されたのが、主に高等学校を対象にしたエジプト版「バカロレア」制度です。この制度は大学入試の改革を含んだ大規模なカリキュラムの一体改革です。ちなみに、バカロレアという名前がついていますがフランスで有名な高校卒業試験の「バカロレア」や国際的な教育プログラムの「国際バカロレア」とは直接の関係はないようです。

エジプト版「バカロレア」制度による改革は始まったばかりですが、もともと一度きりしかなかった大学受験の機会(エジプトでは高校の卒業試験の結果が重要)を複数回受験できるようにしたり、高校 2 年次から医学・生命科学、工学・コンピューターサイエンス、ビジネス、文学・芸術の 4 コースから 1 つを選択し、そこで専門科目(生物学、物理学、会計学、心理学など)を勉強するようにするなど、大胆な教育制度の見直しが行われています(Youm 7 オンライン版, 2025 年 1 月 22 日付)。新制度への移行が目指される背景には、「思考力」重視の学びや結果ばかりでなく学習プロセスを大切にする発想、生徒・家庭の負担軽減への期待があるとされます。

*エジプトにおける教育改革について概観するとき、改革全体のあり方を方向づける直接的な背景の一つとして国際社会の動向は重要です。日本でも PISA や TIMSS などの国際学力調査のたびに教育改革の議論が起こりますが、エジプトの教育は資金面では国際的な援助機関からの多額の支援に支えられていることもあり、海外の教育政策の動向に強い関心が向けられています。

- Moustafa, M. Elghamrawy, E. King, K and Hao, Y. C. (2022) “Education 2.0: A Vision for Educational Transformation in Egypt.” In: Reimers, F.M., Amaechi, U., Banerji, A., Wang, M. (eds) *Education to Build Back Better*. Springer, Cham